

ららぽーと立川

JJ1SXA/池

「立川が熱い」続々編です、スウェーデン発祥で、ヨーロッパ・北米・アジア・オセアニアなど世界に出店している世界最大の家具販売店「IKEA」の開店に続き、続編で、新大衆劇場「立川けやき座」が誕生のことを書きましたが、今回は、「ららぽーと」開店のことです。

西東京エリア初の「ららぽーと」、立川市最大級の 250 店舗「三井ショッピングパークららぽーと立川立飛」が、2015 年 12 月 10 日グランドオープン。

開放的な眺望と緑の潤い、都市感覚が融和する「ららぽーと」が誕生と宣伝文句にあります。

場所は、多摩モノレール「立飛」駅に直結している、駐車場は、平日は、最初の 2 時間無料、以降 1 時間 2,000 円以上(税込)買い上げで、1 時間無料、5,000 円以上(税込)買い上げで、2 時間無料となっています、

土日・祝日は、最初の 1 時間 500 円、以降 30 分毎 250 円、2,000 円以上(税込)買い上げで、1 時間無料、5,000 円以上(税込)買い上げで、2 時間無料となっている、なお、無料送迎バスが出ている無料駐車場も 3 箇所あります。

営業時間は、ショッピング・サービスは、10:00～21:00、フードコートは、10:00～21:00、飲食・レストラン街は、11:00～ 22:00、スーパーマーケットは、9:00～22:00 となっている。

聡敷地面積は約 94,000 平方メートル、東京ドームの 2 倍強、店舗面積は、約 60,000 平方メートル(約 18,000 坪)は東京ドームの約 1.3 倍、こんな広大な土地はどうしてあったかという、基地関連で国が保有していた土地だったからだ、払い下げは、もちろん入札だったが、莫大な金額だったようだ。

テストコースもあった、日産自動車の跡地にできた武蔵村山市にある、「イオンモールむさし村山」の聡敷地面積約 137,000 平方メートルには広さでは劣るが、JR 立川駅で多摩モノレールに乗り換え、二つ目の駅に直結は、アクセスでは問題にならない便利さだ。

多摩地方最大の都市は「八王子市」で、中核都市にもなったが、今や、買い物客は、八王子からも立川に押し寄せることとなり、八王子のデパートや大型商店等は危機感を覚えているらしい。

思えば、中野区のアパートから立川の公団住宅に引っ越した頃、会社の上司や同僚が、随分田舎の方へ行くんだなあといやかしたのを思い出す、尤も、私自身が都会から、都落ちで田舎へ行くといった感覚だった、団地住まい 4 年で、現在の我が家に落ち着いてからも、30 年近く経つ、立川が随分変わったのも当たり前だ、今は、かつての田舎イメージから大都会に変身している。